

令和6年度第1回日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する協議会  
論点整理

| 感想・意見・懸念事項                                                                                                                                                                            | 集約・まとめ                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ○ 顧問がそのスポーツの経験があるかは運次第。<br>生の人事は教科で考えられており顧問の競技経験で考えられていないため、管理顧問となってしまう。                                                                                                             | ◆専門性の高い指導者の確保                                         |
| ○ 顧問の先生が競技を知ってる知らないにすごく左右されている。生徒から、やってくれている顧問に対しての批判も増えてくる。全然知らない、教えてくれないなど。信頼関係がなかなか気付なかったり構築されなかったりする。<br>外部に頼らないといけない部活が多い。保護者としては、協議内容を詳しく知っている方に指導してほしいので外部指導員は有り難い。            | ◆専門性の高い指導者の確保                                         |
| ○ 部活の種類が少ない。子供たちのやりたいことができていないのが現状だと思う。                                                                                                                                               | ◆生徒のニーズに応じた部活動運営                                      |
| ○子供たちのニーズを地域で丸ごと支えたい。                                                                                                                                                                 | ◆生徒のニーズに応じた部活動運営<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備                  |
| ○ スポーツ活動で地域とかかわる。子供の成長、地域社会にとってもいいこと。子供の需要と大人のやりたいことは中々マッチングしない。そこを合わせられれば。地域コミュニティを大切にしたい。                                                                                           | ◆生徒のニーズに応じた部活動運営<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備                  |
| ○ 地域に移行してもそれを抱えてくれる地域の方がいるのか。選手のセカンドキャリアとして指導員としえを雇えたら子供たちに還元できる。<br>今でも指導してくれないかと依頼が来るがほぼボランティア。指導だけでは生活できないので教えたけれど教えられないという指導者がたくさんいる。<br>子供もしっかりとした指導者から教わりたいというニーズ。そこをマッチングできれば。 | ◆専門性の高い指導者の確保<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備                     |
| ○ 亜細亜大学には 29 団体 教員免許を取る生徒いる。学生も教えることでアウトプットできていい。タイミングが合えば大学生が生徒に教えるということも。それがきっかけで教員に興味を持つ可能性。逆にこちらからお願い。日の出がモデルになれば。                                                                | ◆生徒のニーズに応じた部活動運営<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備                  |
| ○ スポーツが地域社会を作ることは、子どもの成長にとっても大切なことだと考えている。子供たちがやりたいことと大人が指導できることのマッチングができるといい。                                                                                                        | ◆専門性の高い指導者の確保<br>◆生徒のニーズに応じた部活動運営<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備 |

|                                                                                                                       |                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ○ 問題課題が山積み。数年かかるプロジェクト。<br>亜細亜大さん土日だけ指導に来てもらうなど小さなテストを行いながらしていかないと会議室ではまとまらない。<br>スモールスタートで進めてテストで出てきた課題を潰していく方が解決する。 | ◆専門性の高い指導者の確保<br>◆生徒のニーズに応じた部活動運営<br>◆地域人材の活用に必要な体制整備 |
| ○ トライアンドエラーでできることを根付かせることが大切と感じた。行政からトップダウンでは長続きしない。                                                                  | ◆地域人材の活用に必要な体制整備                                      |

## 感想・意見・要望等の集約と論点整理

### 論点 1 日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行の理念・方針

#### 【考え方・捉え方】

- 多様な経験ができるよう、生徒のニーズに応じた柔軟な運営を行う必要がある。
- 学校と地域とが連携、協働して部活動運営を進める必要がある。
- 今後の日の出町のまちづくりにつながる。（日の出町教育ビジョン 2023 の具現化）
- スポーツが地域社会を作ることは、子どもの成長にとっても大切なこと。

### 論点 2 地域人材の活用に必要な体制整備

#### 【考え方・捉え方】

- 専門性の高い指導者を確保する必要がある。
- ボランティアでの運営には限界がある。
- 亜細亜大学の学生には教員免許の取得を目指す学生もいる。学生も学校で生徒に教えることができる機会になる。
- 部活動における亜細亜大学の学生の派遣を試行する。
- 指導者派遣における体制整備が必要である。